



# 真光会だより

2019年4月  
創刊号

発行責任者  
社会福祉法人真光会  
理事長 佐々木鴻文

高木保育園

今町保育園

天竜保育園

梅北保育園

## 創刊にあたって

社会福祉法人真光会の4保育園は、平成29年度から認定こども園に移行しました。子ども・子育て支援新制度では、地域の子育て支援の充実が求められており、保育園等を利用する子どもの家庭だけでなく、在宅の子育て家庭を含むすべての家庭及び子どもを対象とすることとなっています。

そこで、真光会保育園4保育園の地域の皆様に、子育て、健康及び栄養等に関する様々な情報を毎月お知らせしていくことにしました。

初めての試みであり、十分な内容ではありませんが、ご一読いただければ幸いです。



## まことの保育 ～尊いみ教を聞いて仏のこどもを育てます～

私たちは、自分の「いのち」は私のものだと思っています。けれども、私のいのちは本当に私のものなのでしょうか。もし私のものであれば、この人生は私の思い通りに生きられるはずですが、この世の中は私の思い通りにならないことに満ちあふれています。

改めて「いのち」とは何でしょうか。それはひとことで言うと「願いの結晶」です。経典には、「すべての生き物は、自らのいのちを愛して生きている」と記されていますが、私たちは自分が生きていくために、日々海や大地の無数の生き物のいのちを食べて生きています。そうすると、もしすべてのいのちある物が共通の言葉を持って語り合えるとすれば、おそらく次のような語りかけが私たちの耳に聞こえてくるかもしれません。

**あなたが生きていくために、私はこうして死んでいく。**

**だが、私のこのいのちを無駄にしてもらっては困る。**

**私はこれからあなたの中で、共に生きていく。**

**だから、このいのち を無駄にしない、そういうあなたを生きてほしい。**

私たちはこれまで、どれほど多くのいのちを食べ、これからまた、どれほどのいのちを食べていくのでしょうか。多くのいのちが、いま私といういのちの中で共に生きています。そのいのちの声なき語りかけに耳を傾け、自らのいのちを尊んで生きる在り方を「仏道」といいます。

保育園生活を通して子どもたちが生かされているいのちに目覚め、周囲の人々を敬い愛することのできる心豊かな人へと育てていくことを願っています。

**「まことの保育」とは、一言で言うと「仏教（浄土真宗）のみ教えに基づいた、いのち・こころ・生きる力を育む保育・教育」のことです。**

### 真光会保育園の教育・保育目標

慈心不殺（いのちを大切に子ども）

- ①慈悲（思いやりのある心を持つ子ども）
- ②同朋（友だちと仲良く遊べる子ども）
- ③報恩（ありがとうと言える子ども）
- ④健康（元気な明るい子ども）

の幼児像を求めています。



### 今後の真光会だより

子育てに関する情報等は保育教諭、健康に関しては看護師、食事や栄養に関しては栄養士が、それぞれ執筆していきます。

ご意見ご要望等を各園にお知らせください。